臺灣日日新報 昭和十八年十一月三十日（火曜日） 第一方五千七百十五號 （一）

第二次ギルバート諸島沖航空戰

敵空母五隻を屠る

巡艦二隻轟沈、二隻大破

【東京發至急報】大本營發表（昭和十八年十一月二十九日十五時）

ギルバート諸島方面その後の戰況左の如し

一、帝國潛水艦は二十五日未明マキン島西方海面に於て敵航空母艦一隻を攻撃し、これを大破せしめたり（沈沒概れ確實）

二、帝國海軍航空部隊は二十六日夕刻ギルバート諸島西方海面に於て敵機動部隊を攻撃し航空母艦二隻撃沈丙一隻轟沈せり

我が方の損害は未歸還一機なり

註　本航空戰を第二次ギルバート諸島沖航空戰と呼稱す

三、帝國海軍航空部隊は二十七日夕刻ギルバート諸島西方海面に於て更に來襲し來れる敵機動部隊を攻撃し航空母艦二隻撃沈丙一隻轟沈せり

我が方の損害は未歸還一機なり

註　本航空戰を第二次ギルバート諸島沖航空戰と呼稱す

四、タラワ島及びマキン島の戰況については同島守備部隊との連絡絶え狀況詳かならざるもタラワ島に於てはなほ激戰續行中のものの如く海軍航空部隊は同島敵陣地を連續爆撃中なり

附記　既報二十二日のギルバート諸島西方海面に於ける航空戰を第一次ギルバート諸島沖航空戰と呼稱す

轟撃沈破艦船十四隻

第三次ギ諸島沖航空戰まで我が軍の綜合戰果

【東京發】十九日以來の第三次ギルバート諸島航空戰において我が撃墜破並に撃沈破せる敵艦船は次の如し

△撃墜　果

撃沈　大型航空母艦一隻、駆逐艦一隻、中型航空母艦一隻、計三隻

撃破　巡洋艦若くは戰艦一隻、中型航空母艦一隻、駆逐艦一隻、輸送船一隻、計四隻

撃沈　航空母艦二隻（內大型航空母艦一隻轟沈）巡洋艦二隻

撃破　巡洋艦若くは戰艦）一隻大破炎上

我が方の損害　未歸還五機なり

註　本航空戰を第三次ギルバート諸島沖航空戰と呼稱す

二ミツツ反攻に鐵槌

敵空母集團を一氣に撃滅

【東京發】二十九日の大本營發表は次の如く敵艦船撃沈破の大戰果を發表したが、その後の我が部隊の追撃により更に次の如き戰果を擧げた

撃沈　巡洋艦一隻、驅逐艦一隻、輸送船二隻、計四隻

撃破　巡洋艦若くは戰艦一隻、中型航空母艦一隻、輸送船一隻、計二隻

撃墜　百二十五機

△我方の損害　自爆未歸還百十二機

一日に一隻を喪失

敵空母陣への打撃甚大

【ベルリン二十九日發同盟】ギルバート諸島における日米航空戰は日一日と熾烈を加へつつあるが、米軍は今次の戰闘において一日平均一隻の空母を喪失してゐる

航空機の大量增産へ

設備機械動員實施要綱決定

【東京發】國內に於ける航空機の生産擴充がいよいよ軍需會社の指定と共に本格的段階に入るに伴ひ、その生産擴充の基本となる設備機械の動員實施要綱が二十九日の閣議で決定した

教育決戰態勢確立

第三回戰時教育協力會議

【東京發】國民學校、中等學校、大學、專門學校の生徒等からなる大日本文教報國隊の結成を目指す第三回戰時教育協力會議は二十九日午前九時から東京都內の學校に於て開催された

米軍の戰死傷激大

作戰に加はる陸海兩軍の將兵は今や全世界の戰場に於て敢闘してゐるが、しかも彼等は敵を制してゐる喜びを以て日本人に與へる感激作戰の眞價であると共に又その眞價を發揮してゐるのである

米軍の戰略

陸上戰略戰を避けんとす

【東京發】二十九日大本營はタラワ、マキン島の敵に對しては同島守備隊の連絡絶えたため敵の狀況は明かでないがタラワ島においては敵は同島守備隊の頑強なる抵抗に遭ひ上陸後既に四日を經過するも僅かに海岸の一部を占據するに過ぎず

皇軍の戰果に感銘

獨紙夕刊大々的に掲載

【ベルリン二十九日發同盟】ギルバート諸島における日米航空戰は日一日と熾烈を加へつつあるが、米軍は今次の戰闘において一日平均一隻の空母を喪失してゐる

比類のない激戰

米記者の報道

ルーズベルト米統領からベルリンに對し「マキン島の戰鬪からベルリンに對し「マキン島の戰鬪からベルリンに對し「マキン島の戰鬪からベルリンに對し「マキン島の戰鬪からベルリンに對し

米、建艦に汲々

【東京發】本洋を主戰場とし遂行されつつある世界戰爭の中心として米國が自ら「アメリカの兵器廠」であると稱してゐるごとく

支那繪畫史研究

【重慶發】支那繪畫史研究會は廿九日午後二時から重慶市內某所に於て第一回研究會を開催した

市町村の財政運營

簡素單純化方針決る

【東京發】內務省では從來の市町村の財政運營について經費節減を叫ぶこと久しく殊に戰爭下あつたがこの際市町村の經費節減の實を擧げ

反攻作戰軍の首腦

在獨邦人にも及ぶ

【東京發】二十日から二十四日に亙る獨逸國防軍に於けるベルリンの大會議はベルリン總統府に於て開催された

茨城縣第一區の補缺選擧

【東京發】茨城縣第一區選出衆議院議員（故人）はさきに內田信也氏の當選が發表されたが、內田氏は同日貴族院議員の補缺選擧に當選したので

英本土空軍

【ストックホルム二十九日發同盟】ロンドン來電＝英國空軍の戰略爆撃機は二十八日ドイツ軍に對し

英軍、ビルマ國境に集結

【ニューデリー二十九日發同盟】ビルマ國境に對する英軍の集結は着々進捗しつつあるが、英軍は現在ビルマ國境に二個師團を集結しつつあり

臺灣總督府官報

十二月號　七十錢

大東亞戰爭の課題・齋藤　忠
大東亞戰國民大會の記・山本實彥

必勝條件の熟成と

改造

★少年兵隨想……岡田禎子

★戰鬪と建設……鹿子木員信

★フーゲンビルの戰果（對談）栗原大佐・石田豐雄

東亞の大憲章

山崎堲純

▼緊急の課題……小山一平
▼米國の敗因……山口一雄
（陸軍）百武晴吉
（海軍）野村直邦
▼マニラの陷落……石井一昌
▼ニューギニアの戰況……江口圭一

富士

好評の十二月號

▲南海の勝興の巻にこの赤誠！
▲荒鷲百人を育てた熱血訓導を訪ふ……赤川武助
▲忠誠勇武の生活……陸軍大將
▲追ひ出し再出發の人々……吉田謙吉
▲北千島第一線……小林大一
▲敵の反攻撃滅……座談會

大東亞戰爭二周年特輯

▲熱血小說　御盾……山岡莊八
▲戰爭小說　艦體傷つくとも……十海三野
▲時代小說　仲……山手樹一郎
▲現代小說　寬政の池……井口一郎

世界大地圖

大日本帝國陸地測量部校閱

消化不良便秘に！
ホシ ミクロゼ
星製藥

社說

增稅並に事業公債の發行

本島經濟財政確立方策竝に本島と内地との財政の調整等に關する諸問題に就ては、既に屢々論及し來つたが、これ等諸問題の解決に關する第八十二回帝國議會（昭和十八年十一月二十九日開會）に於ける政府の施政方針演說（昭和十九年度一般會計豫算竝に特別會計豫算の提出）は、十一月二十九日（月）閣議決定した

一期米買入價格審議

臺灣米管委員會開かる

買入・生産補給金共

十八年二期作と同額据置

示告ふけ

生産供出の實行確約

十九米穀年度增産打合

貸付等の金利引下

增炭に石炭會社協力

計畫造船へ强力發足

韓國海運會社創立

米軍需工場の罷業

デトロイト市の暴動二週後の職場で

土質改良に運搬道路

農民も時局をよく認識

夢間にも祖國の姿

ペルー棉花王　岡田幾松氏談

遲しき增産振り

江藤新竹州知事農民激勵

出陣學徒諸兄を送る

戰決

濕布に

簡便・爽快　長時間有効

建艦獻納百萬圓目差す

新竹州から二十萬圓

建艦獻納百萬圓目差す
新竹州から二十萬圓
江崎知事 海軍武官府へ獻金

【新竹電話】新竹州では州民の建艦獻金が目標百二十萬圓の線に達せず、十一月一日から三十日までの一ヶ月間を期して三十萬圓を突破しようと官民一體となつて運動を續けてゐるが、十一月一日現在の獻金額は僅かに二十萬圓に過ぎないので、江崎知事は三十日午前十時から州廳樓上で記者團と會見し、州民の建艦獻金が目標に達しない理由について「州民の愛國心は決して低いものではない、ただ戰爭の苛烈さを認識せず、從つて戰爭に對する覺悟が出來てゐないからである、今回の獻金運動を機會に州民の戰爭に對する認識を深めたい」と語つた

臺灣醫師會號 陸海軍へ臺灣醫師會號
淨財三十五萬圓を獻納

【臺北電話】臺灣醫師會では今回陸海軍へ獻納する爲め淨財三十五萬圓を醵出することとなつたが、この程その獻納機を決定し、陸軍へ臺灣醫師會號、海軍へ臺灣醫師會號と命名して獻納することとなつた、なほ獻納機は陸海軍當局の指示を待つて決定する筈である

學習院の出陣壯行會

【東京電話】學習院では學徒出陣に際し、二十二日午後一時から目黒の同院大講堂に於て壯行會を擧行したが、この日、學生代表として、まづ出陣學徒代表として、まづ出陣學徒代表として、まづ出陣學徒

女子・増産挺身隊設置
潮州郡で食糧絶對確保

【潮州】食糧増産に伴ふ農業勞力の不足を補ふ爲め潮州郡では女子・増産挺身隊を設置し、郡下各地の農業勞力の不足を補ふ爲め活躍することゝなつた、隊員は十二月一日から一週間に亘り郡内各地に出動する筈で、隊員は郡内各地の女子青年團員を以て編成し、隊長には郡内各地の女子青年團長が當る、尚隊員の出動に關しては各地の實情に應じ適當の措置を講ずる筈である

感謝獻金七千餘圓
北斗郡民戰果に應ふ

【北斗】郡内に於ける北斗郡の大東亞戰爭一周年に際しフィンシビル號を始め數隻の軍艦獻納の爲め擧郡大動員を行ひ、去る廿三日迄に二十六日間の獻納期間を以て實施したが、郡内各地に於ける獻納實績は豫期以上の好成績を擧げ、十一月廿五日現在の獻納金は實

（第二版）（開港開市一年五月九日第三種郵便物認可）　昭和十八年十一月三日（火曜日）　臺灣日日新報　第一万五千七百十五號　（一）

夕刊

臺灣一圓一家親

日滿華共同宣言二周年

共榮圏建設の完整

日滿華の努力に俟つ

大東亞憲章を實踐

二年前を回顧決意新た

滿支交部長
李國欽外交部長談

國府指導者

交部長談

比島の國政は飛躍

諸政運營本格的段階へ

大東亞戰局の重大なる一環たる大陸戰局の好轉化する現段階に於いては比島の國政運營も亦本格的段階に入つたものと見做すべきである。比島の國政は既に一年有半の經驗を積み、その間幾多の困難を克服して來たのであるが、今や

多大の期待裡に發足

臺北州中小商工業再編成協力會

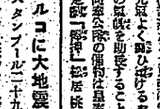
創立總會開く

（写眞は會場）

彌よ敵撃滅へ協力

日滿華基本條約締結三周年

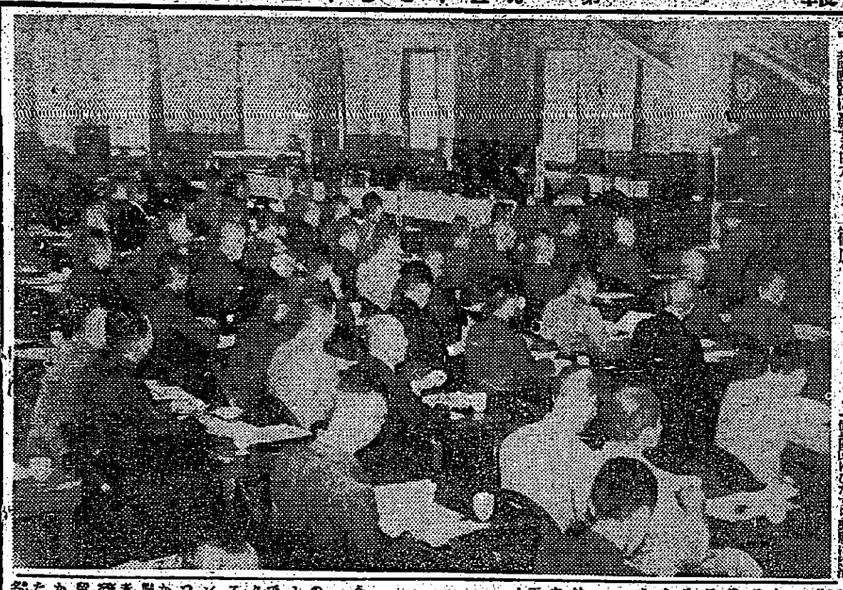
感激と決意を語る馬總領事



不法の取扱に憤激

収容所生活を回顧

抑留談話會



前線から……銃後へ

機上、遮風板に綴る〝皇國萬歳〟鮮血文字

報道班員手記【下】

矢の突入、壯烈な體當り

傳統的

御楯に送る五男一女

今は前線に銃後に活躍

鮮血は

決戦作業力

栄養

●頭痛にノーシン●

宇津救命丸

高血壓中風

今泉博士の素晴しい研究

ぜん息・神經痛

高血壓中風

今泉博士の素晴しい研究

陸軍大學校

海軍兵學校